

# 進捗報告書（実行団体）

事業名:	新型コロナ 移民・難民相談支援事業	Version 1.2
資金分配団体:	特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム、公益財団法人日本国際交流センター	日付: 2021年10月14日
実行団体名:	特定非営利活動法人移住者と連帯する全国ネットワーク	
実施時期:	2021年5月～2022年2月	
事業対象地域:	全国	
事業対象者:	生活困窮・就労などの困難をかかえる移民・難民	

## I. 事業概要

<b>事業概要</b>
本事業は、当団体の相談支援経験の蓄積と全国的ネットワークの力を生かし、新型コロナ禍で生活困窮する移民・難民を対象とした各地の団体による相談対応の底上げや地域での新たな支援連携を後押し、移民・難民の問題の解決を目指す。具体的な方法としては、①各地の団体による相談対応への支援（制度情報の提供、助言、相談会の開催、行政窓口への同行・通訳費等の支援）②緊急支援金による支援（食費、シェルター宿泊費、医療保険がない外国人への医療費等）を実施することにより、民間による緊急支援から公的支援につなぐ。さらに相談から見えてきた課題を政策提言につなげ、移民・難民の貧困問題のより根本的な解決をめざしていく。

## II. 進捗報告の概要

<b>総括</b>
事業の主要な柱でもある同行・通訳支援については、全体としてほぼ当初の計画通りに実施している。事業立ち上げから最初の1-2ヶ月はしくみ作りの部分で時間がかかってしまったが、より円滑な運用を行うことをめざし、申請条件の見直しなどを行った。以降、申請件数も増加、このままのペースでいけば目標の800件は達成される見通しである。支援対象ケースのなかには、深刻な生活困窮や重篤な医療ケースも多く見られる。そうしたケースに対する実質的な救済に向けて緊急支援の実施を行っているが、緊急支援の需要が多いことから予算の組み替えを検討している。

## III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
・コロナ禍で困窮する移民・難民への同行・通訳支援800件と必要に応じた緊急支援 ・支援のための連携体制の構築 ・支援者や支援に関心のある層へ向けた支援ノウハウの共有	9月末までに約300件同行・通訳支援を実施。このままのペースで進めば目標の800件は達成される見込み。また、支援対象者には公的支援の利用ができないケースも多かったことから、医療費や食料費、シェルター費などの緊急支援も実施。記入支援の需要は膨大にある。 同行・通訳支援の実施を通して支援ネットワークの活動の現状についての把握にも努めている。また、支援者セミナーを通して、支援者や支援に関心のある層へ向けた情報提供も行った。

活動	進捗状況	概要
定例コーディネーター会議の開催（月2回） 同行・通訳支援、緊急支援 相談会 支援者セミナー	ほぼ計画通り	毎月2回、事業にかかわる地域・領域コーディネーターとの会議を開催し、事業のしくみについての確認や同行・通訳支援、緊急支援の実施状況について共有した。外部に向けては全6回に渡って支援者セミナーを開催し、テーマ毎に支援にあたって必要な知識や情報の共有を図った。また、この間技能実習ホットラインを3回実施した。

## IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

<b>自由記述</b>
（団体として、事業実施後（1年以降）に目標とする状態への指標等を設定している場合、ご記載下さい）

## V. インプット

	2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率	
事業費	直接事業費	¥0	¥19,800,000	¥19,800,000	¥2,794,251	14%
	管理的経費	¥0	¥0	¥0	¥0	#DIV/0!
合計	¥0	¥19,800,000	¥19,800,000	¥2,794,251	14%	

<b>補足説明</b>	予算計上済の件数3,893,680円のうち、5-9月（5ヶ月分）の1,946,840円を法人本体会計から立替えており、本事業会計からは未執行。件数執行のための必要書類をジャパン・プラットフォームに確認いただいた上で、10月中に執行する予定。当該件数を支払った場合の執行率は23.94%。
-------------	---

## VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
現場では、コロナ感染者への支援にあたった支援者が感染するなどの状況も発生していたため、「同行」支援の条件を緩和し、電話等による相談の聞き取りや同行支援先との交渉も「同行・通訳支援」として認めた。また、当初、「同行・通訳支援」の申請は同一案件での上限を2回までとしていたが、コロナ禍で問題に遭遇する移民・難民のケースは、在留資格、労働、生活困窮など複合的な要素を内包し、複数回同行・通訳支援を実施しなければ、到底解決できないケースも多かったことから、申請回数の上限をなくした。その結果、申請件数も増加したと同時に、支援現場においても費用の心配が解消され、通訳の手配など、支援が円滑に行われるようになった。

## VII. その他

自由記述
言語の壁や情報の格差により、公的支援へのアクセスがむずかしいケースに関しては、同行・通訳支援を実施することにより問題が解決されている。一方、公的支援の対象から除外されている相談者のケースに関しては、本事業の緊急支援も含め、社会的資源をさまざまに組み合わせながら支援を実施しているが、民間だけで支えていくのは不可能である。本事業を通して、あらためて公的支援の必要性を可視化し、政府に対して必要な政策を求めていきたい。現場では、同行・通訳支援を担える人材の不足が目立つ。一方で、支援を実施する過程なかで、あらたな連携も構築されている。これまで移民・難民問題に取り組んだ経験がない団体・個人などとも問題を共有しながら、ひきつづき支援のネットワークを広げていきたい。

## VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	無	
広報制作物等	有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本事業の案内（2021年5月27日・移住連ホームページ掲載・会員MLに投稿） <a href="https://migrants.jp/news/office/20210527.html">https://migrants.jp/news/office/20210527.html</a></li> <li>・ 支援者セミナーの案内（2021年6月16日・移住連ホームページ掲載・会員MLに投稿） <a href="https://migrants.jp/news/event/20210616.html">https://migrants.jp/news/event/20210616.html</a></li> <li>・ 同行・通訳支援の案内チラシ（2021年6月下旬・以下チラシを移住連会員向け情報誌に同封（約650部）） <a href="https://drive.google.com/file/d/1SrVSVg_2lbNY2LtPkD-76lTyCt5ec7Vo/view?usp=sharing">https://drive.google.com/file/d/1SrVSVg_2lbNY2LtPkD-76lTyCt5ec7Vo/view?usp=sharing</a></li> <li>・ 同行・通訳支援の案内（2021年7月27日 移住連ホームページ掲載・会員MLに投稿） <a href="https://migrants.jp/news/office/20210727.html">https://migrants.jp/news/office/20210727.html</a></li> <li>・ 技能実習ホットライン案内チラシ（2021年8月・カトリック教会経由で配布） <a href="https://drive.google.com/file/d/1cO2FpEsWhOBIQ0RO-czrqLzKJe0lwieY/view?usp=sharing">https://drive.google.com/file/d/1cO2FpEsWhOBIQ0RO-czrqLzKJe0lwieY/view?usp=sharing</a></li> <li>・ 技能実習ホットラインの案内（2021年8月25日・移住連ホームページ掲載・会員MLに投稿） <a href="https://migrants.jp/news/office/20210825.html">https://migrants.jp/news/office/20210825.html</a></li> </ul>
報告書等	無	

## IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	